

令和4年度 第2回議会報告会 まとめ

1. 開催日 令和4年11月13日（日）
2. 場所等 保健センター2階研修室
1回目：10時00分～11時56分、2回目：14時00分～15時16分
3. 出席議員 竹内恵美子議長、清田文雄副議長、吉川諭議員、二宮加寿子議員、奥津勝子議員、鈴木京子議員、飯田修司議員、高橋英俊議員、鈴木たまよ議員、渡辺順子議員、吉川重雄議員（午前Zoom参加、午後欠席）、柴崎茂議員（欠席）
4. 参加申込件数 会 場 ：1回目 9人、 2回目 3人
Z o o m ：1回目 7アカウント、2回目 0アカウント
5. アンケート結果 別添のとおり
6. 報告会における町民からの質問及び意見等

○ 決算について（報告）

午前・午後の部

- ・質問等なし

○ 町長選挙と町議会選挙の同時実施について

午前の部

- （問い）立候補から投票まで4日間しかない。どういう人物を選んでいくかはとても難しい。できれば立候補から投票まで2週間くらいの余裕を持ってみてはどうだろうか。
- （答え）立候補から投票までは5日間であるが、これは公職選挙法で昔から決まっている。
- （問い）昔から決まっていることをいつまでも続けている、そんな町で良いのか。そんな国家でいいんですか。大磯町はそういう時こそ声をあげてこうであるべきだということによって、大磯町の存在感を広げていけるのでは。
- （答え）公職選挙法が使いにくいものだという事は私たちも感じている。選挙活動は日常茶飯事として行われているという国もある。おっしゃっていることはよく理解できる。意見として伺っておく。
- （問い）なぜ反対しなければならないのか。町民がこれだけ熱心にやっている。もっと町民の声をしっかり聞いてほしい。
- （答え）議長から全員の意見を聞き、今後全員で協議はしていこうという結論が出ている。次につなげていくために議員の中で決議を出して決めていこうといった意見も出ているので今後も考えていきたい。
- （問い）法律や規則と言われて先に進まない。時代にそぐわなければ、総意で変えたらいと思う。大磯だけでそういうことってできないのか。時代にそぐわない、町民が反対している、それでも法律があるからできない。そんなやり方はおかしい。

(答え) 意見として伺っておく。

(問い) 同時選挙について、総務建設常任委員会では採択され、その後議員全員協議会で検討いただいた。出席議員 13 名のうち賛成者、反対者はそれぞれ何名いたのか。

(答え) 9 月 28 日の議員全員協議会で協議したが賛否は取っていない。なぜかというのと、約 5,200 名の署名をいただいてそこで賛否をとって否決されると、署名も否決になってしまう。そのため賛否は取っていない。

◆投票方法

(問い) 投票に行けない高齢者がたくさんいる。新しい選挙制度を考えてもらいたい。

(答え) もっともな話だと思う。若い人は自由に投票にいける。思いがあっても歩いて投票に行けない高齢者もいる。人口構成を考えると、そういう方々も安心して投票できるという環境づくりは、議員全員の合意があれば大磯町議会として国に意見書を上げることもできる。

投票マイクロバスについて、箱根で運行している。これは町の選挙管理委員会の仕事になるので、一般質問などで取り上げるようにしたいと思う。

期日前投票はこれまで本庁舎のみだったが、前回（参議院選挙）から土日の 2 日間、国府支所でも期日前投票ができるようになった。

午後の部

(問い) 議会で議員が同日選挙を可決したのになぜやらないのか。同日選挙をやった方が良かったと思うこともあるが、現状を見るとこのままでもいいとも思う。当時は同日選挙の方が経費がかなり削減になると思ったが、公共事業などと比べると少額である。今のままでいいんじゃないかと。ただやっぱり、他市町を見ると議員選と市長選を一緒にやっているの、いつになったらできるのかなと思う。若い世代が同日選挙ができるように、どうやってもっていくのかと思う。

(答え) 総務建設常任委員会では 4:2 で採択された。その後、議員全員協議会で協議をしたが、全会一致ではないので議会としての決定はしないというのが結論である。

解散決議案を出すかどうかは、議員各位の判断ということになった。また同日選挙に向けて、議員全員協議会で協議をしていくということになった。

結論としては、次期に向けて議員全員で検討していくということになった。

(問い) 総務建設常任委員会とは、どういう委員なのか。

(答え) 議会には総務建設と福祉文教という二つの常任委員会があり、それぞれ関連する項目を検討していく。委員会で決定したものを議員全員協議会で協議をしていくということで、建設がついているから建設だけということではなく、総務全般についても扱う委員会となっている。

(問い) 5,215名の署名が提出されたが、何についての署名なのか。

(答え) タイトルは、大磯町の町長選挙と町議会議員選挙の同時実施を求める署名である。文面は、町長選挙と町議会議員選挙を同時に行うことで、陳情項目は1.選挙費用の節約(約1,000万円の直接経費、間接経費の節約)、2.町政に関する関心を高め投票率の向上、3.削減経費は青少年健全育成事業等へである。団体名は、町長選挙と町議会議員選挙の同時実施を求める会とある。

(問い) 庁舎計画をした時系列を見ると二宮には5億円の補助金が国から出ている。大磯町は計画があつたにもかかわらず手を上げなかったと聞いている。なぜなのか。

(答え) 補助金の関係のことはわからない。議会としても新庁舎建設等特別委員会を設置して町とも交渉をし、町民の意見を吸い上げて町に要望をしている。

○ 自由質問

午前の一部

◆エネルギー

(問い) ウクライナ危機と歴史的な円安でエネルギー価格の高騰が止まらない中、自治体の電気代にも大きな影響を与えていると思う。これに対して具体的に電気代がどれくらい上がっているのか。

(答え) 令和4年の一般会計の補正予算で説明すると、本庁舎の光熱水費の当初予算900万円が714万9,000円の補正が可決されたばかり。これは行政がというより、ウクライナ情勢など様々な世界の状況が影響しているところである。何れにしても上がっていることは間違いない。それに対して国も当然補正予算をつけてきている。

(問い) 大磯の公共施設の屋根には太陽光パネルがない。広域避難所である小中学校も同様で、電気のないところが避難場所になるのか。

(答え) 大磯幼稚園、子育て支援センター、また学校施設にも太陽光パネル自体は設置しているが公共施設は古い施設なため設置していない。今後の施設については検討されると思われる。大磯小学校の体育館などでは小さな太陽光パネルや発電機などは用意しているところはある。まだまだ不十分だと思うが、予算の問題などもあるので最終的に決めるのは行政である。

◆町の緑化

(問い) 国道1号線沿いに街路樹を植えるという話があつたが、そのままになっているという話を聞いた。夏の時期に町を歩くとき、街路樹があるとどれ程助かるか身にしみて思う。ぜひ街路樹を増やすということがもし止まっているならそれを含めてお聞きしたい。

(答え) 街路樹は国土交通省の管轄。電柱の地中化の時に植えられていた街路樹を伐採した。その後街路樹ではなくて低木のようなものを植えられた。なぜ街路樹を植えないのかと問い合わせたところ、「歩道が狭いところは、乳母車や車椅子の方などが通られるので、街路樹は植えられない、大きな木は植

えられない」という回答だった。平塚などの広い国道は街路樹が植わっているが、大磯の場合は歩道が狭いところもあり、全部の歩道が広く取れていない」と国土交通省から回答を得たことがある。しかしながら、議会も地球温暖化対策に取り組まなくてはいけないと思う。市街化緑地を増やしたいと皆思っている。これからも色々なところで木を増やして温室効果ガスの削減に取り組まなければならないと思っている。

◆その他

(問い) 資料が事前配布されていれば質問ができた。そういうことを検討してもらいたい。

(答え) 資料は議会の HP に乗せているので、そちらから手に入る。

(問い) 資料 16 ページの反対討論の中に、「社会福祉協議会についての町長答弁が問題」とあるが、何が問題だったのか。

(答え) 社協全体の予算のうち 8 割くらいは町が負担している。そのため監督責任は町にある。包括支援センターと町が交わしている契約書にあることがきちんと履行されていないことが問題。町が自ら決めた指導監督権限がきちんと行われていなかったことが、あのような問題につながり高齢者に大きな負担を強いているということを、町は理解していない。そのような姿勢が問題だ。

午後の部

◆参加人数について

(問い) 昨日の新庁舎の説明会に出たが、参加者数は何人だったのか。ZOOM での参加者もいたのか。今回（議会報告会）もこれだけの参加者なのか、ネットでの参加者はいないのか。

(答え) 議会報告会では、午前中は会場が 9 名、オンラインが 7 名だった。午後は残念ながらオンライン参加者はいない。